## おすすめの1冊コンクール【POP部門】

「ふたりみち」（山本幸久著）のキャッチコピー

### しぶとくあがいて生きるのも悪くない

**ゴールド賞**

金森由利香さん ＝羽島市

六十七歳の元歌手が、十二歳の家出娘と、再びどさまわりの旅をする。行く先々でトラブルに遭い、もう歌えないのかと諦めかけては「運命に逆らうのよ」と奮起する姿がたくましい。過去から今そして未来へと繋がる縁の不思議と絆の深さに、人生の楽しさを感じる。いくつになっても、じたばたしてみればいいと勇気をもらえる一冊。

「カラフル」（森絵都著）のキャッチコピー

### 自分の色、周りの色、見えていますか？

**シルバー賞**

萩原ちひろさん ＝可児高

どうしてあの子は何でもできるのだろう。どうしてあの子はいつも楽しそうなのだろう。自分と人を比べてがっかりして、周りのことが嫌になったり、自分のことを嫌いになったりした経験はありませんか？自分と向き合い相手と向き合い、この世界で生きるのも悪くない、明日からも頑張ろう、そう思わせてくれる一冊です。

「ゼロからトースターを作ってみた結果」（トーマス・トウェイツ著）のキャッチコピー

### 自原材料（ゼロ）から自分で作ると300倍のお値段！

**ブロンズ賞**

小瀬木里枝さん ＝関市

表紙の謎の物体が、作ってみた「結果」である。お店で買えば遥かに良い物が五百円以下で手に入る時代だ。出来栄えだけを見れば無残だが、このトースターは筆者の果敢な挑戦と冒険の結晶だ。本書を読めば愛おしさすら感じる偉大な作品である。ハチャメチャだが人類の工業技術の積み重ねの壮大さを感じられる一冊だ。

※【誤】荻原ちひろさん
【正】萩原ちひろさん